

6-1

余暇活動の充実

利用者のQOLの向上

QOLの向上

地域交流

特別養護老人ホーム 江東ホーム

介護副主任 香川 賢二

生活相談員 江田 和彦

東京都江東区東陽2-1-2

介護主任 武内 英治

TEL：03-3647-5081

E-mail： koutouhome@bz01.plala.or.jp

FAX：03-3647-5407

URL： <http://www.asokakai.net/>

昭和62年開設の特別養護老人ホーム江東ホームは水彩都市といわれる江東区のほぼ中央に位置し、その人らしさを支える真心ケアをモットーにきめ細かいサービスを実施しています。関連施設として短期入所生活介護、在宅サービスセンター、居宅介護支援事業所、在宅介護支援センターを併設しております。

〈取り組んだ課題〉

- ◎ 利用者一人一人のQOLの向上の為、要望に応じた外出の計画、レクリエーションの充実を図り、又、近隣の幼稚園、小学校、中学校との地域交流も行なっていく。

〈具体的な取り組み〉

- ◎ 全利用者を対象とした、利用者ニーズ調査を行い、外出の行き先や頻度等の要望の把握を行なっている。
- ◎ 月2回の外出計画を立て、一人の利用者に年に2～3回外出の機会を設けることとする。又、付き添いには、職員だけではなく、ボランティアの活用も積極的に行ない、外出だけの目的ではなく、地域住民との交流もあわせて行なっている。
- ◎ レクリエーションについては、委員を中心に、フロア対抗及び、併設のデイサービスの利用者との交流を兼ねたレクリエーションの計画作成をし、実施している。
- ◎ 地域交流については、近隣の幼稚園、小学校、中学校の担当教員、生徒会との連絡調整を行い、子どもたちによる歌やおどりの披露、プレゼント贈呈等を通して、幅広い世代との交流を図るとともに、お互い良い関係を構築し、良い相乗効果になるように配慮していく。

〈活動の成果と評価〉

- ◎ 外出の機会を多く持ち、要望のあった場所や新しい名所に行くことにより、昔と違った現在の街並みを感じて頂くことができた。又、利用者が昔よく行った場所のエピソード等を思い出し、お話しされることで、利用者と職員、ボランティアお互いのコミュニケーションが深めることができ、信頼関係の構築につながった。
- ◎ 外出先での人との交流を通して、表情や仕草から、今まで施設では見られなかった違う利用者の一面を知ることができ、普段の処遇についてもその情報を反映させることができた。
- ◎ レクリエーションをフロア及び併設のデイサービス利用者との対抗戦にし、又、個人賞や優勝カップ等用いることで、利用者一人一人の活動への参加意欲の向上をはかり、活動後も引き続き交流を持つことができるようになった。
- ◎ 幅広い世代や地域住民とのコミュニケーションをとる機会が多くなり、利用者の社会性の向上につながることができた。

〈今後の課題〉

- ◎ 外出においては、時間帯の制限がでてきてしまい、要望に答えられない部分もある。又、遠方等に行く際は、利用者の健康管理についても、課題となってくる。
- ◎ レクリエーションについては、重度の利用者に対して音楽療法は行なっているが、寝たきりの方のQOL向上の為、それ以外の取り組みも実施していくことが必要と考えられる。